

地震一口メモ No.172

兵庫県南部地震周辺の地震活動について

2019年9月15日に淡路島付近で震度1を観測する地震が発生しました。この地震は2013年4月13日に発生した淡路島付近の地震の周辺で発生したものです。

2013年の淡路島付近の地震（図1）では兵庫県淡路市で震度6弱を観測し、負傷者35人、住家全壊8棟などの被害が発生しました。大阪府では岬町で震度5弱を観測し、大阪市内で断水が15件ありました。（被害は総務省消防庁による）。また、この地震は「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」の活動領域に近接した場所で発生したのですが、地震調査研究推進本部によると、この地震は兵庫県南部地震の余震ではなく、陸域の浅い場所で発生した別の地震で、近傍にある六甲・淡路島断層帯（先山断層帯）との関連は不明である、と評価されています。

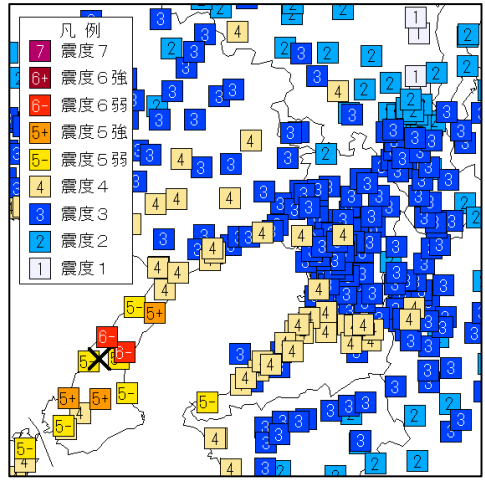


図1 観測点震度分布図 (大阪府周辺拡大)
2013年4月13日淡路島付近の地震

図3をみると、兵庫県南部地震周辺の領域a及び淡路島付近の地震周辺の領域bの地震活動は減衰していることがわかります。しかし領域aでは、兵庫県南部地震から20年以上が経過した現在でも、マグニチュード2以上の地震（体に感じる程度の地震）が年に数回発生しています。今後も同程度の地震活動が続くと考えられます。

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありません。引き続き、日頃からの地震への備えを心がけてください。

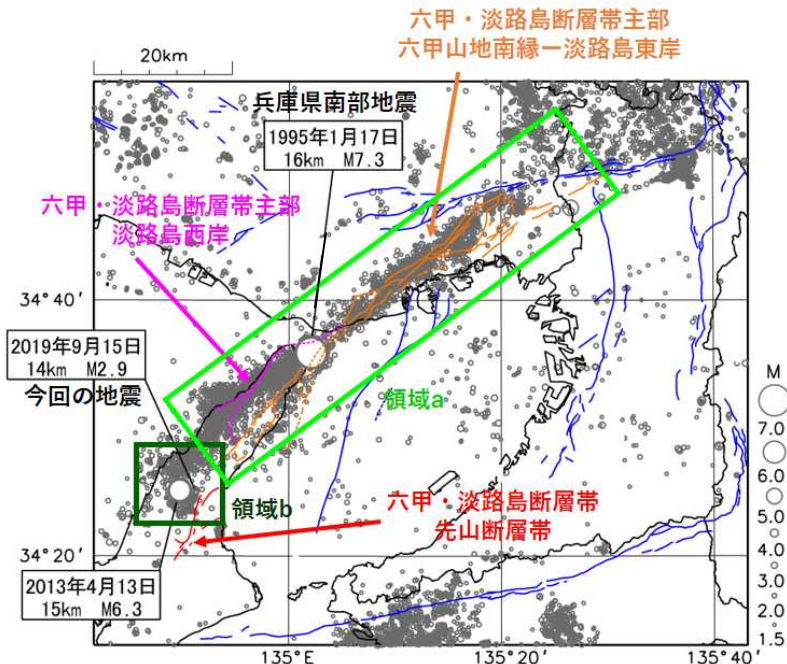


図2 震央分布図

1995年1月1日～2019年9月30日
深さ0～30km、マグニチュード (M) 1.5以上
※有色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による各活断層を示す。

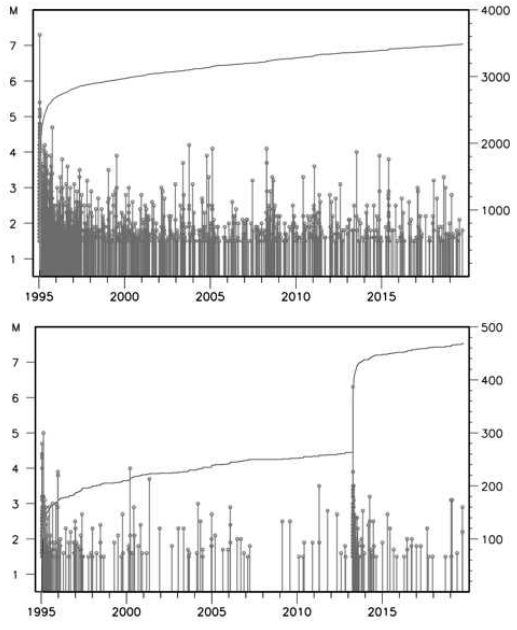


図3 (上) 図2の領域a内の地震活動経過及び回数積算図
(下) 図2の領域b内の地震活動経過及び回数積算図

縦軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。
折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。